



日英伊対訳『景德伝燈録』VII-1

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-05-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: ルッジェリ, アンナ, 平木, 康平 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00004552

日英伊対訳『景德伝燈録』Ⅶ－1

アンナ・ルツジェリ
平 木 康 平

『景德伝燈録』（三十巻）は、法眼下三世の永安道原（生没年不詳）によって宋の景德元年（1004）に成立し、楊億（968－1024）によって刊行された。

その内容は、釈尊以前の過去七仏より、印度における西天二八祖、菩提達磨から六祖慧能を経て、五家の終わりの法眼宗の祖である、法眼文益（885－958）の法嗣まで、全部で一千七百一人の機語を収録している。およそ五三世にわたり各師匠から、弟子へ伝えられた仏法の「燈」の系譜を提示している。

著者である道原については、あまり多くは知られていない。楊億の『景德伝燈録』序によると、道原は、東呉（江蘇省）出身、法眼文益の法嗣である天台德韶（891－972）に法を承け、蘇州承天寺に住した。

道原が、『景德伝燈録』を、南宋の皇帝真宗（997－1022）のもとに奉呈したのが景德元年（1004）であることから、この年を成立年次としているが、実際に刊行されたのは、元豊三年（1008）であった。

道原の『景德伝燈録』撰述説については、これを否定する一つの異説がある。湖州鉄観音院の僧、西余拱辰を真の著者とする説が、それである。

この説は、紹興二年（1132）の第二版『景德伝燈録』に見えている。その中にある長樂鄭昂が著した「跋」によると、拱辰は、『景德伝燈録』を完成し、真宗に奉呈しようと京師へ旅立ったが、その途上、船の中で旅の一人の僧にその書を奪われた、とある。この僧とは、もちろん道原のことを指している。

しかし、この説はかならずしも信頼できない。それはとくに、次の二つの理由からである。一つには、拱辰は、首山省念－谷隱蘊聡－金山曇穎（989－1060）－西余拱辰と相承した人であり、生没年とも不詳で、景德元年（1004）に何歳であったか分からないが、師の金山はそのとき、まだ十六歳前後で、弟子のとれる年齢ではなかったと考えられる。

『景德伝燈録』のような各祖師の大悟の内容に関する著述は、かならず禅匠の印可を受けた者にしかできなかったことから考えると、拱辰がこれを書いたということは、ほと

んど信じがたい。

また二つには、『景德伝燈録』が南嶽系は、十世、すなわち首山省然までしか収めていないが、これに対し、青原系は十二世まで記し、さらに道原の同門（天台徳韶の法嗣）は、四十九人の多くの名を挙げています。従って、『景德伝燈録』が道原の撰述である可能性は、拱辰よりさらに高いと考えられる。

ところで、日本において『景德伝燈録』は、貞和四年（1348）の八月、京都の人、正琳によって初めて刊行された。現在『大正大藏経』五一巻に収録されているのは、元の延祐年間（1314-1320）の重刊本を翻刻したものであり、楊億の序・重刊状・西来年表・楊億の書翰・鄭昂の跋・宏智正覚（1091-1137）と劉棐の後序等を収録している。

『景德伝燈録』は、唐代に成立した『宝林伝』、『続宝林伝』、『玄門聖胄集』および禅宗の中もっとも古い「燈史」の『祖堂集』（二〇巻・朝鮮刊本、1245年）などの後をうけて成立した。それらは初期の禅宗史を知る史料としては、いずれも『景德伝燈録』より成立も古く、記述されたエピソードも多い。それに比較すると、『景德伝燈録』は、初期の禅宗の事蹟について欠けているところ、誤っているところ、あるいは故意に創作したところなどが多く見受けられる。

しかし、禅宗史伝書の代表的なものとして、『景德伝燈録』は、『天聖廣燈録』、『宗門聯燈会要』、『建中靖国續燈録』、『嘉泰普燈録』とともに、禅宗で大切に取り扱われている「五燈録」の一つに数えられている。

そこに歴史的に誤謬が存在していても、さほど問題にはならない。中国において禅宗は、八世紀から九世紀にかけて、徐々に一定の形にまとめられていった。その過程で、『景德伝燈録』において、七仏二十八祖相承説が説かれた目的は、仏法が七仏以来連続と正しく師から弟子へと相承されてきたが、それがすなわち達磨所伝の正統な禅であることを主張するためであったからである。

また、『景德伝燈録』は公案の書とも呼ばれている。禅宗の源流となった印度の仏祖と、中国禅宗歴代の祖師の言行とを、公案として集大成した、いわば公案大全というべき書である。実は禅宗におけるひとつの修行法として用いられている公案は、ふつう一千七百則といわれている。この数字は、『景德伝燈録』に一千七百余人の伝記が載せられていることから、その名が起ったとされている。

しかし、『景德伝燈録』所収の一千七百余人の言行を、ただちに一千七百則の公案と見るのは、本当は正しくない。詳しく調べてみると、一千七百一人の伝記の中で、実際

にはただ九百六十人の言行とエピソードを述べているに過ぎない。残り七百四十余人については、その名前を挙げているだけである。したがって、公案の実数は九百六十と言うべきであるが、実は公案の数は、「八万四千の法門」というように、その大体の数を挙げたものにすぎない。

『景德伝燈録』の具体的な内容としては、第一巻から第二六巻までは、さまざまな教派の祖師の伝記と、多くの弟子の名を述べていて、第二七巻、および第二八巻は、伝記に出てくるが、直接的に関係のない禅者の事蹟を記している。そして、本文に収録できなかった語を補遺として集めている。最後に第二九巻、および第三〇巻は、銘・記・歌・讚・偈・詩などを集めている。

禅宗史において、『景德伝燈録』が果たした役割の、重要な別の一面に注意する必要がある。宋代の禅門において、「問答」という自然な修行の方法から、「公案」という新しい工夫へ移行してゆく。その過程にたいして、アメリカの科学者、Thomas S.Kuhn (1922-96) の「パラダイム」および「パラダイム転換」(paradigm shift) の理論を採用して、ルッジェリは次のような意味付けを行った。すなわち「公案」は「問答の固定化」であり、「問答」とまったく別物ではないが、「問答」とは一線を画すものである。『景德伝燈録』は、「公案」の書としての役割も果たしているが、「パラダイム転換」としての「伝燈」の「連続」と「非連続」の関係に、深く関わってくる重要な一面をもつ書であると。¹

本稿は、『景德伝燈録』に訓読を施し、さらにそれを現代日本語と英語、イタリア語に翻訳したものである。本稿はアンナ・ルッジェリと平木康平との共同研究の成果である。そのうち訓読と日本語訳、注記については、ルッジェリの草稿に平木が補正を加えたものであり、文責は平木にある。英語訳とイタリア語訳についてはルッジェリが多く方々の助力を得て行ったものであり、文責はルッジェリにある。本稿が、『景德伝燈録』第七巻から始めたのは、この第七巻が禅宗の「黄金時代」といわれる唐代の禅僧の、多くの興味深い問答を収録しているからである。

『景德伝燈録』の訓読は、入矢義高氏を中心とする研究会が、目下その作業を進めて

¹これについては、拙著「パラダイムとしての禅公案の研究」『人間文化科学研究集録』第8巻、大阪府立大学大学院人間文化科学研究科・総合科学研究科、1999年3月刊行予定、を参照。

おり、禅文化研究所からすでに一部分が刊行されているが、すべてはまだ出揃っていない。『景德伝燈録』は、禅宗の基本経典であり、この道に多くの関係者や研究者がいるにもかかわらず、意外なことにその現代日本語訳は、断片的にはあるものの、まとまったものがない。またその英語訳も、部分的に翻訳されたものが、知りうる限り一種類あるのみである。そのイタリア語の翻訳を試みた者は、もとよりまだ誰もいない。

そうした状況のなか、日英伊対訳『景德伝燈録』の刊行を目指すことの新しい試みは、多くの未踏の分野にわたるため、言うまでもなくさまざまな過ちを犯しているであろう。これから先、諸賢の批正をまち、繰り返し補訂を加えてゆきたいと考えている。²

凡例

- 一 原文は『景德伝燈録』（影印宋版本）道原著、中文出版社、東京、1990年を底本とした。
- 一 『景德伝燈録』本文と訳文の字体は、原則として、常用漢字体を使用した。
- 一 原文の内容によって区切り、短い段落分けを行った。
- 一 注は各ページの下に記した。
- 一 簡単な注は訳文中に（ ）を用いて記した。

² おもな参考文献は次の通りである。

原文は『大蔵経』第五一巻「景德伝燈録」、大正新修大蔵経刊行会、東京、昭和48年、196-467頁、『景德伝燈録』（宋版本）道原著、中文出版社、東京、1990年を参照。

他に『景德伝燈録』第3-4巻、景德伝燈録研究会編、入矢義高監修、禅文化研究所、京都、1993年を参照。この二巻は『景德伝燈録』の原文・読み下し・注を掲載している。しかし、これに対して本稿は読み下しと注、解釈においてかなりの相違がある。

また佐橋法竜著、『景德傳燈録』上・下巻、春秋社、東京、1970年を参照。

英訳は Tao Yuan (compiled by), *The Transmission of the Lamp: Early Masters*, Engl. Transl. by Sohaku Ogata, Longwood Academic, Wolfeboro, 1990 を参照。これは『景德伝燈録』の最初の十巻しか扱っていない。

景德伝燈録巻第七

三角山総印禪師

1.

潭州三角山総印禪師。僧問、如何是三宝。師曰、禾麦豆。曰、学人不会。師曰、大衆欣然奉持。

潭州三角山の総印禪師

僧問う、「如何なるか是れ三宝。」

師曰く、「禾と麦と豆。」

曰く、「学人会せず。」

師曰く、「大衆欣然として奉持す。」

[日訳]

潭州三角山³の総印禪師⁴

僧が尋ねた、「三宝⁵とは何でしょうか。」

師が答えた、「米と麦と豆。」

僧が尋ねた、「私には分かりません。」

師が答えた、「皆は喜んで大事にしているよ。」

[英訳]

<Master Zhong Yin of Sān Jiǎo monastery in Tán province.>

A monk asked, "What are the three treasures?"

³三角山は湖北省黄州府蕲春水県の東にある山。その頂に三尖頭があり、その山中に三角寺がある。

⁴総印(生没年不詳)は唐代の人。馬祖道一の法嗣で、三角山に住す。

⁵三宝とは、佛と法と僧の三つである。この三つは仏教徒が帰依尊重すべきものであるところから宝という。

The master answered, "Rice, barley, and beans."

The monk said, "I don't understand."

The master said, "The people are delighted with them and make much of them."

[伊訳]

<Maestro Zhong Yin del monastero Sān Jiǎo della provincia Tán.>

Un monaco chiese : "Cosa sono i tre tesori?"

Il maestro rispose : "Riso, grano e fagioli."

Il monaco disse : "Non capisco."

Il maestro rispose : "Tutti sono felici di averne e ne hanno cura."

2.

師上堂。曰、若論此事、^上眉毛、早已蹉過也。麻谷便問、^上眉毛即不問。如何是此事。師曰、蹉過也。麻谷乃掀禪牀。師打之。麻谷無語。

[長慶代云。悄然。]

師上堂す。曰く、「若し此の事を論ぜば、^上眉毛を^上睨上するも、早已に蹉過せり。」

麻谷 便ち問う、「^上眉毛を^上睨上するは即ち問わず。如何なるか是れ此の事。」

師曰く、「蹉過す。」麻谷乃ち禪牀^{かつ}を掀ぐ。師之れを打つ。麻谷 語なし。

[長慶代わって云く、「悄然たり。』]

[日訳]

師は法堂⁶に上って、言った、「もしこの事を議論しようとするば、(何か言おうとして)眉毛をつり上げただけで、もうすでに間違っている。」

麻谷⁷はすかさず尋ねた、「眉毛をつり上げる、ということは今はさておき、この事とは何でしょうか。」

⁶法堂は説法堂という意味で、和尚が佛に代わって衆に説法する所。

⁷麻谷(生没年不詳)は唐代の人。馬祖道一に参禅して、その法嗣となる。蒲州(山西省)麻谷(浴)山に住す。

師は言った、「もう間違った。」

やおら麻谷は師の椅子を持ち上げた。師は彼をたたいた。麻谷はことばがなかった。

[長慶（慧稜禪師）⁸は、麻谷に代っていった、「がっかりだね。】

[英訳]

The master ascended the platform in the Dharma hall and spoke, "If you try and discuss the matter, you are wrong as soon as you raise your eyebrows."

Má Gǔ immediately said, "Now putting aside the raised eyebrows, what is it?"

The master answered, "You are already wrong."

Má Gǔ then lifted up the master's seat. The master struck him. Má Gǔ had no word (to say).

[Master Cháng Qìng (Hùi Líng) in place of Má Gǔ said, "Is that all?!"]

[伊訳]

Il maestro sali sul suo seggio nella sala del Dharma e parlò : "Se discuti del fatto, basta anche solo che muovi le sopracciglia, che hai già sbagliato."

Má Gǔ senza esitare chiese : "Lasciando perdere adesso il muovere delle sopracciglia, che cosa è questo fatto?"

Il maestro disse : "Hai già sbagliato."

Má Gǔ sollevò il seggio con fermezza. Il maestro lo colpì. Mà Gǔ rimase in silenzio.

[Il maestro Chàng Qìng (Hùi Líng) commentò al posto di Mà Gǔ : "Tutto qui?"]

⁸長慶慧稜（854—932）は雪峰下の人。杭州（浙江省）塩官に生まれ、俗姓は孫氏。蘇州の通玄寺（江蘇省）で得度、雪峰義存の法嗣となる。

池州魯祖山宝雲禪師

3.

池州魯祖山宝雲禪師。問、如何是諸仏師。師云、頭上有宝冠者不是。僧云、如何即是。師云、頭上無宝冠。

池州魯祖山の宝雲禪師。

問う、「如何なるか是れ諸仏の師。」

師云う、「頭上に宝冠ある者は是れならず。」

僧云う、「如何なるか即ち是れ。」

師云う、「頭上に宝冠なし。」

[日訳]

池州魯祖山の宝雲禪師⁹。

ある僧が尋ねた、「私たちの師はどういうお方ですか。」

師が答えた、「頭の上に宝冠¹⁰をかぶっているお方ではない。」

僧が尋ねた、「それではどういうお方ですか。」

師が答えた、「頭の上に宝冠のないお方だ。」

[英訳]

<Master Bǎo Yún of Lǚ Zhǔ monastery in Chì province.>

A monk asked, "What kind of person is the teacher of the Buddhas?"

The master answered, "Not the one who wears the jewelled crown on his head."

The monk asked, "Then who is he?"

The master answered, "The person without jewelled crown on his head."

⁹宝雲（生没年不詳）は中唐の人。馬祖道一の法嗣。池州（安徽省）魯祖山（貴池県）に住す。

¹⁰宝冠とは、宝物をもって装飾した冠のこと。諸佛の頭上に置かれてその佛の徳を表現する飾り物である。

[伊訳]

<Il maestro Bǎo Yún del monastero Gǔ Zhǔ della provincia Chǐ>

Un monaco chiese : "Chi è l'insegnante dei Buddha?"

Il maestro rispose : "Non è colui che porta la corona di gioielli sul capo."

Il monaco chiese : "Allora chi è?"

Il maestro rispose : "La persona senza corona di gioielli sul capo."

4.

洞山来参。礼拝後待立、少頃而出、却再入来。師云、只恁麼。只恁麼。所以如此。

洞山云、大有人不肯。師云、作麼取汝口弁。洞山乃侍奉数月。

洞山来たり参ず。礼拝して後に待立し、少頃^{しばらく}して、却^また再び入り来たる。

師云く、「只だ恁^{いんも}なるか。只だ恁^{いんも}なるか。此^{かく}の如^{ゆえん}き所以^{ゆえん}は。」

洞山云く、「大いに人の肯^{いんも}わざる有り。」

師云く、「作^{さうげつ}麼ぞ汝^{いんも}が口弁^{いんも}を取らん。」

洞山、乃ち侍奉^{すうげつ}すること数月。

[日訳]

洞山（良价）禅師¹¹が参禅のためやって来た。礼拝したのち師の側にたち、しばらくして（出ていったが、）またもう一度入ってきた。

師が言った、「たったそれだけかね。たったそれだけかね。なぜそんなことをするのか。」

洞山が答えた、「どうしても私のことを認めない人がいます。」

師が答えた、「どうしてお前の無駄口を聞いていられるか。」

洞山はそこで数カ月、師の側に仕えた。

¹¹洞山良价は（807-869）会稽（越州浙江省）に生まれる。幼時に、馬祖下の五洩山靈黙に従って出家し、雲巖の法嗣となる。のちに曹洞宗の高祖と仰がれる。

[英訳]

Dòng Shān (Liáng Jià) came for the *sanzen*. After bowing, he stood behind the master and, after a while, he went out. Then he came in again.

The master said, "Only this, only this! Why do you do such a thing?"

Dòng Shān answered, "By all means, there must be someone who doesn't approve me."

The master said, "Why do I have to hear your excuses?"

Dòng Shān then served the master for several months.

[伊訳]

Dòng Shān (Liáng Jià) venne per il *sanzen*. Egli, dopo essersi inchinato, rimase davanti al maestro. Dopo un poco uscì e poi rientrò nuovamente.

Il maestro esclamò "Solo questo, solo questo! Perché [fai cose del genere?]"

Dòng Shān rispose : "In ogni caso c'è sempre qualcuno che non mi approva."

Il maestro disse : "Perché mai devo ascoltare le tue scuse?"

In seguito Dòng Shān rimase al servizio del maestro per svariati mesi.

5.

僧問、如何是言不言。師云、汝口在什麼處。僧云、無口。師云、將什麼喫飯。僧無對。

[洞山代云、他不飢、喫什麼飯。]

僧問う、「如何なるか是れ言うと言わざると。」

師云く、「汝が口は什麼の處にか有る。」

僧云く、「口無し。」

師云く、「什麼を將つて飯を喫するや。」

僧、對うる無し。

[洞山代わって云く、「他飢えず、什麼の飯をか喫せん。』]

[日訳]

僧が尋ねた、「言うと言わないとの違いはどこにありますか。」

師が言った、「お前の口はどこにある。」

僧が答えた、「口はありません。」

師が言った、「それならどうして物を食べるのか。」

僧は返すことばがなかった。

[洞山が代って言った、「彼は飢えていないのに、どんな飯を食べるのか。」]

[英訳]

A monk asked, "What is the difference between talk and no-talk?"

The master replied, "Where is your mouth?"

The monk answered, "I haven't a mouth."

The master asked, "If it is so, with what do you eat food?"

The monk had no word to say.

[In his place Dòng Shān answered, "If he is not hungry, he doesn't need to eat the meal."]

[伊訳]

Un monaco chiese : "Qual è la differenza tra il parlare e il non parlare?"

Il maestro replicò : "Dov'è la tua bocca?"

Il monaco rispose : "Io non ho bocca."

Il maestro chiese : "Se non hai bocca con cosa mangi?"

Il monaco non ebbe risposta.

[Al suo posto Dòng Shān commentò : "Se non ha fame, non ha bisogno di mangiare il pasto."]

6.

師尋常見僧来、便面壁。南泉聞云、我尋常向僧道。向仏未出世時會取。尚不得一箇半箇。他恁麼地驢年去。

玄覺云、為復唱和語、不肯語。保福問長慶、只如魯祖節文、在什麼處。被南泉恁麼道。

長慶云、退已讓於人。万中無一箇。

羅山云、陳老師當時若見、背上与五火抄。何故如此。為伊解放不解取。

玄沙云、我當時若見、也与五火抄。

雲居錫云、羅山玄沙総恁麼道、為復一般。別有道理。若拈得出、許上坐仏法有去処。
玄覺云、且道。玄沙五火抄打、伊著不著。

師、尋常僧^{じんじょう}の來たるを見れば、便ち面壁す。南泉聞きて云く、「我れ尋常僧に向つて
道^いう、『仏の未だ世に出でざるの時に向かつて会取せよ』と。尚一箇半箇も得ず。
他恁麼^{かれいんもご}地に驢年もて去る。』

[玄覺云う、「復唱和の語為るか、肯わざる語たるか。』

保福、長慶に問う、「只だ魯祖（宝雲）の如きは、節文^{いすれ}什麼の処に在つて南泉に
恁麼^{いんも}に道わる。長慶云う、「己を退けて人に譲るは、万中に一箇もなし。』

羅山云く、「陳老師¹²、当時^も若し見ば、背上に五火抄を与えん。何が故に此くの如く
するや。伊放^{かれ}つを解して、収むるを解せざるが為なり。』

玄沙云く、「我れ当時、若し見ば、也た五火抄を与えん。』

雲居錫云く、「羅山と玄沙の総て恁麼^{いんも}に道うは、復一般^{また}たるか。別に道理有るか。若
し拈び得出ださば、上坐の仏法に去処有るを許さん。』

玄覺云く、「且らく道え。玄沙の五火抄は、伊を打ち著くるや、著けざるや。』

[日訳]

師はいつも僧がやってくるのを見ると、すぐ壁に向かって坐った。

南泉¹³がこの話を聞いて、言った、「私はいつも僧に、仏がまだこの世に出てくる前
に会得せよと言って教えている。それでもなお一人半人すら育てていない。彼はあ
のようにして何もせずに馬齢を重ねている。』

[玄覺が言った、「南泉の言葉は、師（宝雲）を誉めた言葉であろうか、それとも貶
した言葉であろうか。』

保福が長慶に尋ねた、「それにしても魯祖（宝雲）はどんな理由があつて、南泉にあ
んなにひどいことを言われたのかね。』

長慶が答えた、「（宝雲のように）自分を後ろに下げて、ほかの人に譲る謙虚な人は

¹²陳老師は羅山の俗名。

¹³南泉普願（748-834）は、鄭州(河南省)新鄭に生まれる。馬祖道一に參禪して、その法嗣となる。

一万人に一人もない。」

羅山が言った、「私（陳老師）がその時、もし師（宝雲）を見たならば、背中に五火抄¹⁴を押し付けたであろう。どうしてそのようにするのか。それは（宝雲が）僧に対して突き放すことを知って、受けとめてやることを知らなかったからだ。」

玄沙が言った、「私がその時、もし師（宝雲）を見たならば、また五火抄を押し付けたであろう。」

雲居錫が言った、「羅山と玄沙はともにあのようにいっているが、同じことを言っているのか、それとも別のことを言っているのか。もしその区別ができれば、お前の仏法が本物であることを認めよう。」

玄覺が言った、「さあ、言え。玄沙の五火抄は彼（宝雲）をうまく打ち据えたかどうか。」

[英訳]

The master used to immediately sit facing the wall whenever a monk came to visit him. Nán Quán heard of this matter and said, "I always used to tell the monks to realize the Buddha before he came into the world, and yet I have not gotten half a monk. If he is doing like that, he is wasting his time."

[Xuán Jué said : "Are the words of Nán Quán words of praise for the master (Bǎo Yún) or mocking?"

Bǎo Fú asked Cháng Qìng : "Why did Lǚ Zhǔ (Bǎo Yún) say such terrible things to Nán Quán?"

Cháng Qìng answered : "He retreats himself, and there is not a person amongst ten thousand who gives to others."

Luó Shān said : "If I saw the master at that moment, I would have pushed his back with an unlit torch. Why did he behave so? It's because he (Bǎo Yún) knows how to thrust the monks off, but he doesn't know how to accept them."

Xuán Shā said : "If I saw the master (Bǎo Yún) at that moment, I would also have

¹⁴五火抄は五本の木をたばねた火付け木か。あるいは灸のたぐいか。未詳。

pushed him with an unlit torch.

Yún Jù Xī said : "Lúo Shān and Xuán Shā they said in the same way, but did they say the same thing or did they say something different? If you realize the difference, I will confirm you that your understanding of the Buddha Law is true."

Xuán Jué said : "So, tell me. Did the unlit torch of Xuán Shā hit him (Bǎo Yún) well and strong?"

[伊訳]

Il maestro solleva immediatamente sedersi rivolto verso il muro ogni volta che un monaco andava a fargli visita. Nán Quán lo venne a sapere e disse : "Io chiedo sempre ai monaci di realizzare che cosa fosse il Buddha prima di essere giunto in questo mondo. Nonostante ciò non sono ancora riuscito a formare uno o anche solo mezzo monaco. Lui così spreca solo tempo."

[Xuán Jué commentò : "Le parole di Nán Quán sono parole che lodano il maestro (Bǎo Yún), oppure sono parole che lo scherniscono?"

Bǎo Fú chiese a Cháng Qìng : "Che motivo aveva Lǚ Zhǔ (Bǎo Yún) per rivolgersi a Nán Quán in quel modo terribile?"

Cháng Qìng rispose : "Lui si è messo indietro, e di persone che cedono agli altri non ce n'è nemmeno una in mezzo a diecimila."

Luò Shān disse : "Se io in quel momento avessi visto il maestro (Bǎo Yún), lo avrei spinto alla schiena con una torcia spenta. Perché fa in questo modo? Perché nei confronti dei monaci sa essere indifferente, ma non sa accettarli."

Xuán shā disse : "Se anch'io, in quel momento, avessi visto il maestro (Bǎo Yún), lo avrei spinto con la torcia spenta."

Yún Jù Xī disse : "Lú Shān e Xuán Shā hanno commentato entrambi allo stesso modo, ma stanno dicendo la stessa cosa, oppure stanno dicendo cose diverse? Se tu riesci a realizzare questa differenza, riconoscerò che la tua comprensione della Legge di Buddha è autentica."

Xuán Jué disse : " La torcia spenta di Xuán Shā avrà colpito (Bǎo Yún) ben forte?"

泐潭常興禪師

7.

洪州泐潭常興禪師。僧問、如何是曹谿門下客。師云、南來燕。僧云、学人不会。師云、養羽候秋風。

洪州泐潭常興禪師。

僧問う、「如何なるか是れ曹谿門下の客。」

師云く、「南來の燕。」

僧云く、「学人会せず。」

師云く、「羽を養って秋風を候つ。」

[日訳]

洪州¹⁵泐潭常興禪師¹⁶。

僧が尋ねた、「曹谿¹⁷の客はどのようなお方ですか。」

師が答えた、「南から渡ってきた燕です。」

僧が言った、「私には分かりません。」

師が答えた、「羽を休養させて、秋風をまっています。」

[英訳]

<The master Cháng Xīng of Lè Tán monastery in Hóng province.>

A monk asked, "What is the guest of the Cáo Xī school?"

The master answered, "Swallows come from the south."

The monk said, "I don't understand."

The master answered, "They rest their wings and wait for the autumn wind."

¹⁵洪州は江西省南昌の通称。

¹⁶泐潭常興禪師は『五燈会元』卷三に問答を記録している。

¹⁷曹谿は、『祖庭事苑』一、『雲門録』上、「曹谿」の条に「寶林傳、唐儀風中、居人曹淑良施地六祖大師、居之地、有雙峰大谿、因曹侯之姓謂曹谿」とある。

[伊訳]

<Il maestro Cháng Xīng del monastero Lè Tán della provincia Hóng.>

Un monaco chiese : "Chi è l'ospite della scuola Cáo Xì?"

Il maestro rispose : "Rondini arrivano da sud."

Il monaco disse : "Non capisco."

Il maestro rispose : " Riposano le ali e spettano il vento dell'autunno."

8.

僧問、如何是宗乘極則事。師云、秋雨草離披。

僧問う、「如何なるか是れ宗乘極則の事。」

師云く、「秋雨ありて草 離披す。」

[日訳]

僧が尋ねた、「禪の窮極の教えとは何でしょうか。」

師が答えた、「秋雨がふって草が倒れています。」

[英訳]

The monk asked, "What is the ultimate teaching of *chan*?"

The master answered, "The autumn shower falls and the grass is scattered."

[伊訳]

Il monaco chiese : "Qual è l'insegnamento fondamentale del *chan*?"

Il maestro rispose : "Gli acquazzoni d'autunno scendono e l'erba si affloscia."

9.

又南泉躬至、見師面壁。乃拊師背。問、汝是阿誰。曰、普願。

師曰、如何。曰、也尋常。師曰、汝何多事。

又た南泉^{みずか}躬ら至り、師の面壁するを見る。乃ち師の背^うを拊つ。

(師) 問う、「汝は是れ阿誰^{たれ}ぞ。」

曰く、「普願。」

師曰く、「如何^{いかん}。」

曰く、「也た尋常なり。」

師曰く、「汝何ぞ多事なる。」

[日訳]

また南泉が自らやってきて、師が壁に向って坐っているのを見た。そこで師の背中をたたいた。

(師が) 尋ねた、「お前は誰かね。」

(南泉が) 答えた、「普願です。」

師が尋ねた、「どうしたんだね。」

南泉が答えた、「別に何も。」

師が言った、「お前は何でよけいな事をするのだ。」

[英訳]

Nán Quán went himself to see the master facing the wall, and patted him on the back.

The master asked, "Who are you?"

Nán Quán replied, "I am Pǔ Yuàn."

The master asked, "What is the matter?"

Nán Quán said, "Nothing in particular."

The master remarked, "Why are you doing such unnecessary things?"

[伊訳]

Nán Quán andò di persona a vedere il maestro seduto rivolto verso il muro e gli battè sulla schiena.

Il maestro chiese : "Chi sei?"

Nán Quán rispose : "Sono Pǔ Yuàn."

Il maestro chiese : "Che cosa c'è?"

Nán Quán rispose : "Niente in particolare."

Il maestro si lamentò : "Perché fai cose inutili?"

西堂智藏禪師者

10.

虔州西堂智藏禪師者、虔化人也。姓廖氏。八歳従師、二十五具戒。有相者、觀其殊表、謂之曰、師骨氣非凡。当為法王之輔佐也。師遂往仏迹巖、參礼大寂。与百丈海禪師、同為入室、皆承印記。

虔州の西堂智藏禪師¹⁸なる者は、虔化の人なり。姓は廖氏。八歳にして師に従い、二十五にして具戒す。相者有り、其の殊表を觀て、之に謂いて曰く、「師の骨気は凡に非ず、^{まさ}当に法王の輔佐たるべし。」

師遂に仏迹巖に往き、大寂に參礼す。百丈海禪師と同じく入室を為し、皆な印記を承く。

[日訳]

虔州の西堂智藏禪師は虔化の出身の人である。姓は廖氏。八歳の時、師に従い、二十五歳の時、具（足）戒を受けた。人相見がいて、彼の優れた姿を見て、彼に向かって言った、「あなたの骨相は非凡なものがあります。あなたはきっと法王の輔佐役になるに違いありません。」

そこで師は仏迹巖¹⁹に出かけて行き、大寂にお目にかかって挨拶した。（智藏は）百丈懷海禪師と共に大寂の室に入って、二人とも印可を受けた。

[英訳]

Master Xi Táng Zhì Zàng of Qián province was a man from Qián Huà ; his surname was Liào. At the age of eight he followed his teacher, and at the age of twenty-five he was

¹⁸西堂智藏（735–814）は、南康郡（江西省）虔化に生まれる。馬祖道一に參禪し、印記を受く。

¹⁹仏迹巖は、建陽（福建省建陽県）にある。

given the full precepts. A physiognomist looked at his superior features and predicted, "The physiognomy of your face is uncommon. You will be without fall an assistant of the Dharma sovereign.

Then he went to the Fó Xi cliff and visit the master Dà Jì. Along with master Bái Zhàng, he entered in the Fó Xi's room, and both of them received the seal of the Dharma.

[伊訳]

Il maestro Xi Táng Zhì Zàng della provincia Qián era originario del Qián Huà ; di cognome faceva Liào. All'età di otto anni seguì il suo insegnante, e all'età di venticinque gli furono dati i precetti di monaco. Un indovino della fisionomia, avendo osservato la sua prestigiosa figura, gli predisse : "La tua fisionomia del volto è anormale. Tu diventerai certamente un aiutante del re del Dharma."

Successivamente egli si recò alla scarpata Fó Xi per salutare il maestro Dà Jì. Insieme al maestro Bái Zhàng entrò nella stanza di Dà Jì ed entrambi ricevettero il sigillo della Legge.

11.

一日、大寂遣師詣長安、奉書于忠国師。国師問曰、汝師說什麼法。師從東過西而立。国師曰、只這箇。更別有。師却過東辺立。国師曰、這箇是馬師底。仁者作麼生。師曰、早箇呈似和尚了。

一日、大寂、師をして長安^{いた}に詣り、書を忠国師に奉ぜしむ。国師問うて曰く、「汝が師は什麼の法か説く。」

師 東より西に過^ゆきて立つ。

国師曰く、「只だ這箇^{これ}のみなるか、更に別に有るか。」

師却^ゆって東辺に過^ゆきて立つ。

国師曰く、「這箇は是れ馬師^{そしさん}20の底なり、仁者は作麼生。」

²⁰馬師は馬祖道一（709-788）のこと。

師曰く、「^すで早箇に和尚に呈似し^{おわ}了れり。

[日訳]

ある日、大寂は師（西堂禪師）に長安へ行き、慧忠国師に手紙を届けさせた。国師が尋ねた、「あなたの師はどのような法を説いておられますか。」

師は東から西の方へ歩いて行って、立ち止まった。

国師が言った、「ただそれだけですか。もっと外にありませんか。」

師は、今度は東の方へ歩いて行って、立ち止まった。

国師が言った、「それは馬師のやり方です。あなたのやり方はどうですか。」

師が答えた、「すでに和尚にお見せしております。」

[英訳]

One day master Dà Jì dispatched the master (Xi Táng Zhì Zàng) to deliver a letter to the national teacher Hui Zhōng at Cháng Ān.

The national teacher asked, "What kind of teaching does your teacher give?"

The master walked from east to west, then stopped.

The national teacher asked, "Is that all? Is there anything else?"

This time the master walked towards east, then stopped.

The national teacher said, "That is master Mǎ Zhǔ's teaching. What is your teaching?"

The master said, "Master, I have already shown it to you."

[伊訳]

Un giorno Dà Jì mandò il maestro (Xi Táng Zhì Zàng) a consegnare una lettera al maestro di stato Hui Zhōng presso Cháng Ān.

Il maestro di stato chiese: "Il vostro maestro che tipo di insegnamento dà?"

Il maestro camminò da est verso ovest e quindi si fermò.

Il maestro di stato disse: "Tutto qui? Non c'è altro?"

Il maestro questa volta camminò verso est e si fermò.

Il maestro di stato chiese: "Questo è il metodo del maestro Mǎ Zhǔ. Qual é il vostro metodo?"

Il maestro rispose: "Maestro, ve l'ho già mostrato."